

第1章 平成5年度山口大学構内遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・亀山構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散している。各構内には、縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての複合集落遺跡として著名な吉田構内をはじめとして、旧石器時代のまとまった遺物が出土する小串構内など周知の遺跡が埋存している。山口大学埋蔵文化財資料館は学内共同利用施設として、これら各構内において現状変更を行う諸工事に対し、埋蔵文化財保護の立場から調査・研究を行っている。埋蔵文化財の調査を必要とする場合は、工事地域周辺における既往の調査結果や工事の内容、埋蔵文化財に対する影響の度合などを勘案し、埋蔵文化財資料館運営委員会の議を経て、事前・試掘・立会の三種の調査方法によって調査を実施している。

平成5年度は下記のように、事前調査1件、試掘調査5件、立会調査14件の計20件の調査を実施した。

Tab. 1 平成5年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区制	調査面積	調査期間	挿図番号
事前	本部裏給水管埋設工事	吉田構内	K・L-13	約70.0㎡	9月7日～10月15日	Fig. 79-134
試掘	人文学部・理学部講義棟新営工事	吉田構内	M-20	約4.0㎡	7月13日	Fig. 79-135
	第2屋内運動場施設新営工事	吉田構内	G-16	144.0㎡	8月3日～8月18日	Fig. 79-136
	農学部給水管埋設工事	吉田構内	N・O・P-18	9.0㎡	10月21-22日	Fig. 79-137
	工学部プレハブ研究・実験棟新営工事	常盤構内		12.0㎡	7月15-16日	Fig. 81-15
	工学部地域共同研究開発センター新営工事	常盤構内		16.0㎡	7月15-16日	Fig. 81-16
立会	基幹整備（屋外他給水管改修）工事	吉田構内	L-15, N-17 M-18	各8.0㎡	5月6-8日	Fig. 79-138
	農学部連合獣医学科棟新営電気設備工事	吉田構内	O-16	約4.0㎡	8月25-26日	Fig. 79-139
	大学会館前庭バリカー設置工事	吉田構内	N-14	約1.0㎡	8月31日	Fig. 79-140
	大学会館前庭部記念植樹	吉田構内	L-15	約1.6㎡	9月10日	Fig. 79-141
	九田川河川局改良工事	吉田構内		約40.0㎡	10月26日	Fig. 79-142
	農学部電柱立替え工事	吉田構内	W-17	約0.2㎡	11月11日	Fig. 79-143
	農学部ガラス室設置工事	吉田構内	R-14	約10.0㎡	2月15日	Fig. 79-144
	教育学部給水管埋設工事	吉田構内	H-19, J-19	約15.0㎡	2月24-28日 3月1日	Fig. 79-145
	環境整備（大学会館前庭）	吉田構内	L-14-15 M-13-14-15 N-14-15	約141.0㎡	12月2日～2月17日	Fig. 79-146
	環境整備（遺跡保存地区）	吉田構内	H-20 I-19-20-21 J-20-21	約361.0㎡	12月8日～2月15日	Fig. 79-147
環境整備（正門周辺）	吉田構内	H-12-13 F・G-13	約350.0㎡	1月6-21日 2月4日	Fig. 79-148	

平成5年度山口大学構内遺跡調査の概要

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	調査面積	調査期間	挿図番号
立 会	医学部臨床実験施設新営その他工事	小串構内		約9.0㎡	4月5日 6月8日	Fig. 80-23
	医学部附属病院基幹整備 (焼却棟新営その他工事)	小串構内		約6.0㎡	4月9日	Fig. 80-24
	附属光中学校武道館新営その他工事	光構内		約6.0㎡	7月5日	Fig. 84-15

吉田構内の調査 (本部、人文・教育・経済・理・農の各学部、教養部：山口市大字吉田1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田3003所在)



Fig. 1 山口大学吉田・亀山両キャンパス位置図

事前調査1件、試掘調査3件、立会調査11件の調査を実施した。

本部裏給水管管理設に伴う事前調査では、給水管の管路が大学本部の立地する丘陵の等高線に対して垂直に交っており、ちょうど丘陵から低地部に向かってトレンチを入れた状態となった。丘陵側は削平のため、わずかに中世の柱穴が検出されたのにとどまったが、低地部では1.0m以上の厚さで遺物包含層が堆積しており、その下からは、古墳時代から古代にかけての溝や柱穴が検出された。遺物には滑石製模造品や中世輸入陶磁器片がある。

第2屋内運動場施設新営に伴う試掘調査では、大溝を1条検出している。大溝は2段掘りで、北東から南西方向に走行し、幅約4.0m、深さ約60cmの規模をもつ。弥生土器や須恵器などが出土しているが、大溝の時期決定が行えるような遺物は検出できなかった。

人文学部・理学部講義棟新営に伴う試掘調査、農学部給水管管理設工事に伴う試掘調査ともに顕著な遺構・遺物は検出されなかった。

立会調査は環境整備関連を除くと、いずれも規模の小さいものであった。教育学部給水管埋設工事に伴う立会調査では、遺物包含層や河川跡と思われる緑灰色シルトの堆積を確認した。大学会館前庭部及び遺跡保存地区の環境整備は、保存されている埋蔵文化財に注意を払った工法がとられた。部分的には遺物包含層まで掘削が及ぶことがあったが、関係部局の配慮により工法変更などの処置がとられた。

小串構内の調査 (医学部、同附属病院、医療技術短期大学部：宇部市大字小串1144所在)

立会調査を2件実施した。

調査は構内の中央と、真締川に沿った構内東端で行われている。構内の中央で行われた臨床実験施設新営その他工事に伴う立会調査では、現地表から約2.0m下位において地山と考えられる青灰色粘質土層を検出している。青灰色粘質土は下層が徐々に青灰色粘砂へと変化し、貝殻を含んでいた。

構内の東端で行われた焼却棟新営その他工事に伴う立会調査では、真締川に隣接するためか湧水が激しく、厚さ2.0mの造成土を確認するのにとどまった。

常盤構内の調査 (工学部：宇部市常盤台2557、尾山宿舍：同上野中所在)

試掘調査を2件実施した。

構内は北から南に向かって、階段状に4段にわたって平坦に造成されている。今年度の調査は1段目と2段目において行われた。1段目の東側で行われた地域共同研究開発セン



Fig. 2 山口大学小串・常盤両キャンパス位置図

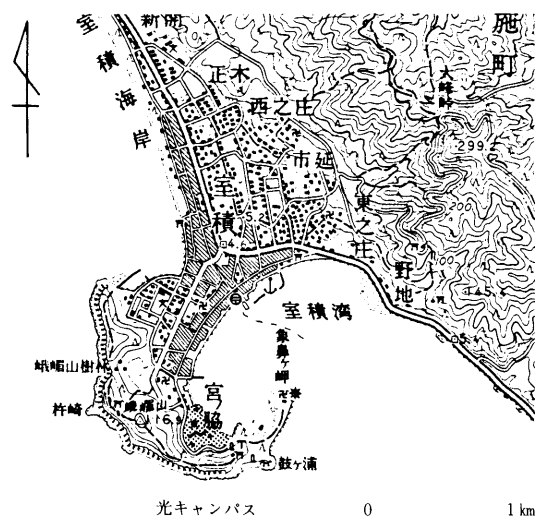


Fig. 3 山口大学光キャンパス位置図

ター新営工事に伴う試掘調査では、テニスコートのマサ土を除去すると直に地山が露出した。遺構・遺物は皆無であった。東側に一段高く隣接する国立宇部工業高等専門学校との間は崖面となっており、本地点における削平の激しさを物語っている。

2段目の西側でプレハブ研究・実験棟新営に伴い試掘調査を行った。構内造成土の下には旧地表が残されていたが、旧地表の直下は地山であり遺構・遺物は皆無であった。1段目と同じく、激しい削平が及んでいる。

光構内の調査 (教育学部附属光小学校、同光中学校：光市大字室積浦1-1所在)

立会調査を1件実施した。

光附属中学校武道館の新営に関しては昨年度に事前調査を行ったが、屋外排水管の布設が今年度に持ち越されていたため立会調査を行った。地表下約30cmで黒褐色砂層を検出した。武道館で検出した遺物包含層に対応すると考えられるが、遺物はわずかに数点の近世陶磁器類であった。



Fig. 79 山口大学吉田構内地区制および調査区位置図

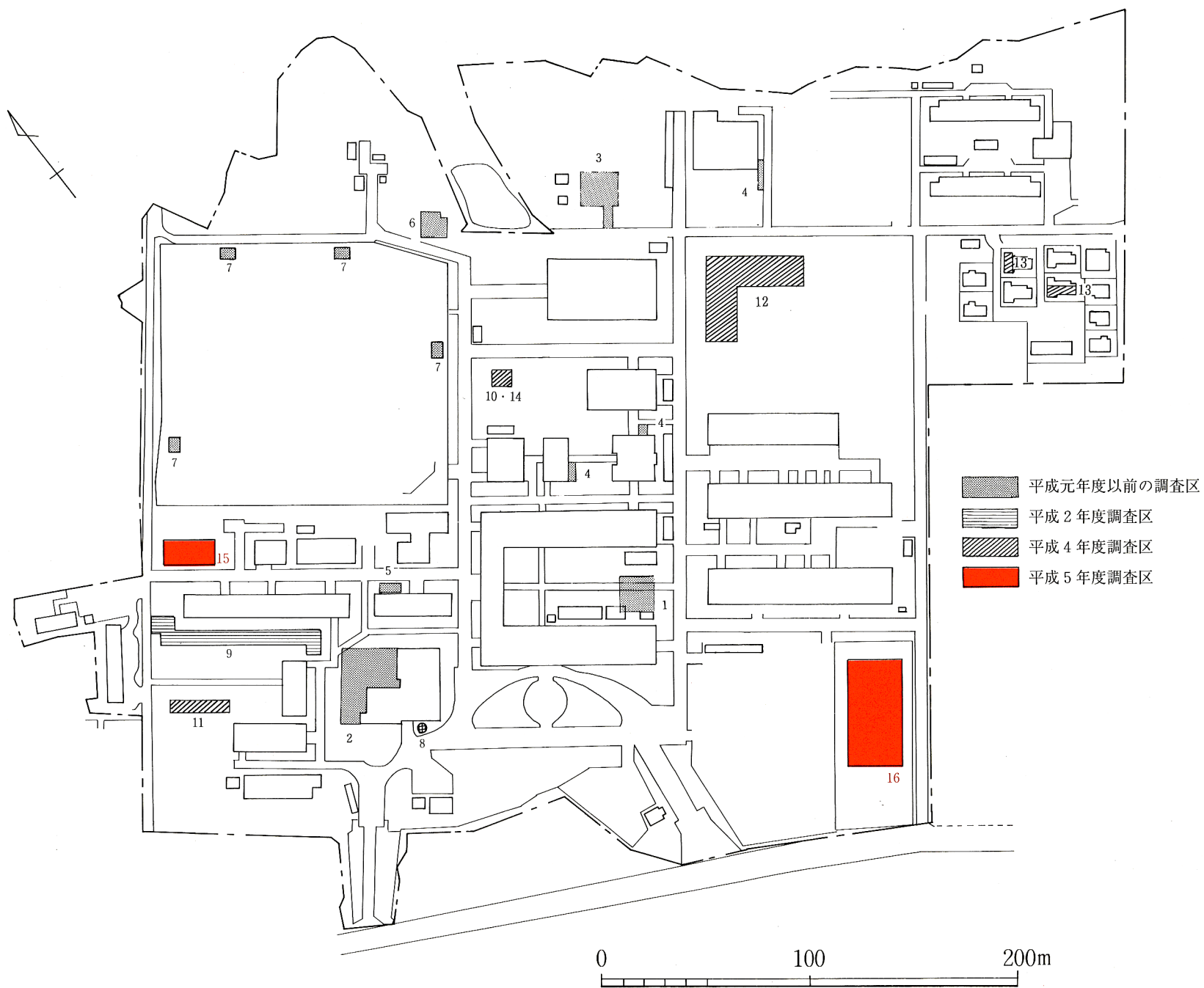


Fig. 81 山口大学常盤構内調査区位置図

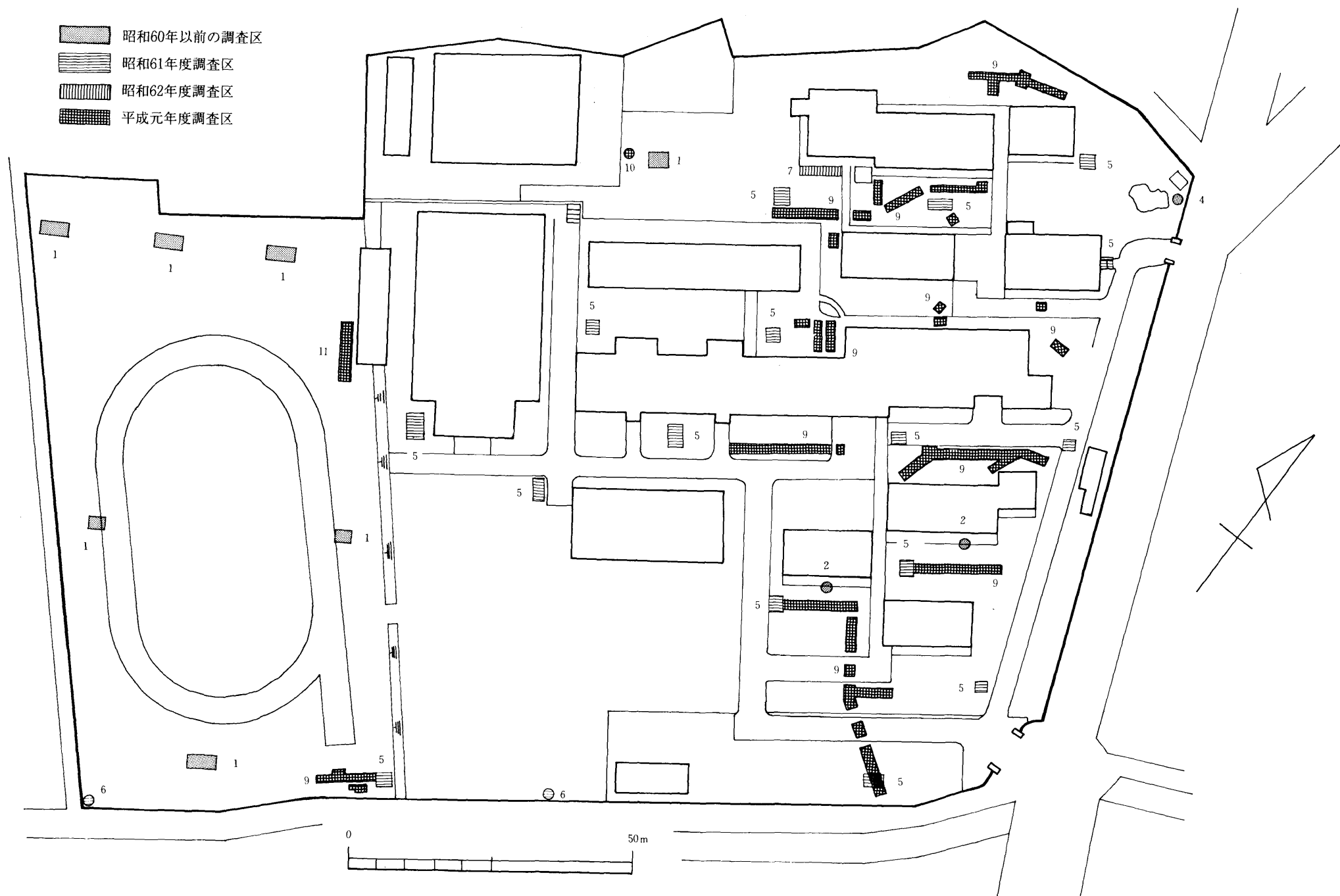


Fig. 82 山口大学亀山構内（幼稚園・小学校）調査区位置図

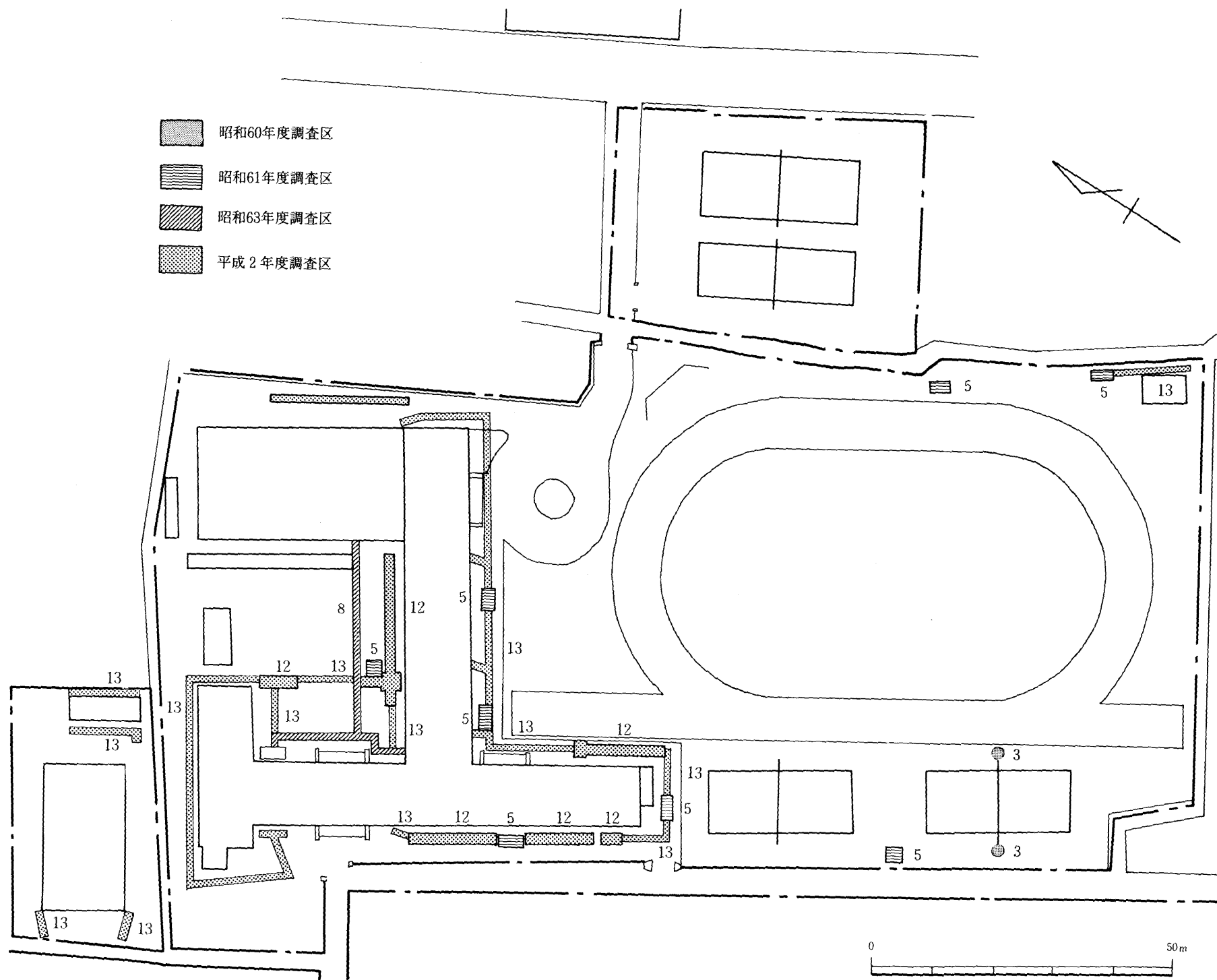
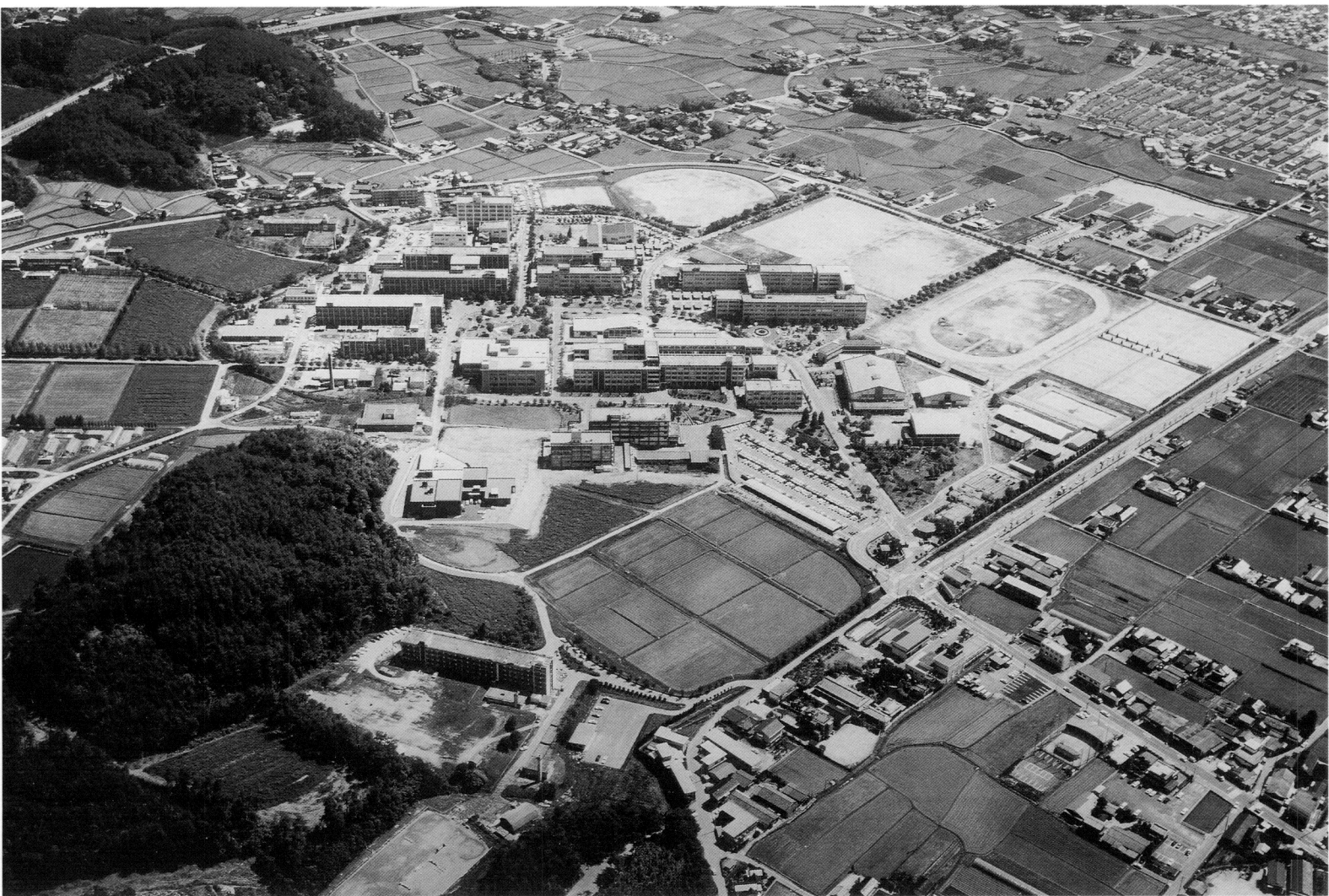


Fig. 83 山口大学亀山構内（中学校）調査区位置図

吉田構内全景（北西から）





吉田構内統合移転当時全景（昭和40年頃）